

(ご参考：3/8) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、[こちら](#)までメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、

[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月1回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

## 日ワシントン州経済関連ニュース

### (1) ワシントン州議会が所得税導入禁止等のイニシアチブ三案を可決

3月4日、ワシントン州議会は、州及び地方自治体による将来的な所得税導入の禁止、子供の学校及び健康情報へのアクセスを拡大する親の権利並びにパトカー追跡の制限を緩和するイニシアチブの三案を可決した。本年11月の住民投票では、気候コミットメント法の廃止、州のキャピタルゲイン税といったその他のイニシアチブ三案が有権者によって決定される。議員が提起する法案とは異なり、イニシアチブが議会で可決された場合は、知事の署名を必要としない。 ([3/4付シアトルタイムズ記事](#))

### (2) シアトル市における男女の賃金格差

最新の米国勢調査を用いたシアトルタイムズの分析によると、シアトル市でフルタイムで働く女性の平均収入は、男性1ドルに対して約78セントで、男性は女性よりも年間2万5,000ドル高い所得を得ている。賃金格差の大きな原因は、賃金の高いシアトル地区のテクノロジー産業にある。大手テック企業は、これまでに雇用や昇進における性差別で度々非難されており、最も有利なポジションでは、依然として男性の割合が高い。2020年時点で、シアトル市でコンピュータや数学関連の職業に就く女性の年収の中央値は約10万3,000ドルで、同じ業界の男性は13万3,000ドルであった。2022年までの10年間で、シアトル市における女性の賃金中央値は44%上昇したが、男性の賃金は46%上昇し、格差は50%以上拡大した。このデータは、昨年8月に州職業安定局が発表した、インフレで賃金が上昇するに連れ、ワシントン州における女性と男性、また異なる人種の労働者間の賃金格差が拡大しているという調査結果と呼応する。 ([3/9付シアトルタイムズ記事](#))

### (3) シアトルのギグワーカー賃金条例への問題提起

アプリを利用したデリバリー労働者の最低賃金を定めたシアトル市の条例は、施行から1か月が経過し、ウーバーイーツやドアダッシュといったデリバリー企業によるサービスの縮小やデリバリー料金追加が発生したため、ドライバーとレストランの双方に不満の

声が上がっている。ドライバーが物価の高い当地で生活するために必要な収入を得るためにデリバリー労働者の最低賃金の保証条例が推進されたが、現在、多くのドライバーたちは、受注する配送数が減っているため、給与が減少する状況に陥っている。シアトル市議会では、本条例を場合によっては変更するとしている。[\(2/23 付シアトルタイムズ記事\)](#)

#### (4) エクスペディア社が 1500 名の人員削減

シアトル市に本社を置くオンライン旅行代理店のエクスペディア社は、コスト削減と収益性の高い事業部門への再注力のため、従業員の約 9%にあたる 1500 名の人員削減を発表した。これには、シアトル本社の 208 名が含まれる。エクスペディア社はパンデミックの際に多くの負債を背負ったが、以来、ビジネス出張の売上が最大の成長源となっている。[\(2/27 付シアトルタイムズ記事\)](#)

#### (5) シアトル地区での住宅購入に必要な年収は最低 20 万ドル

オンライン不動産会社 Zillow 社によると、シアトル地区で平均的な住宅を購入するためには、年収 21 万 4,000 ドルが必要となる。これは、頭金が 10%、住宅ローン金利が 6.6%、住宅費が収入の 30%以下と仮定した場合の試算で、2020 年から 80%近く上昇した。主な理由としては、金利が急上昇した一方で、所得がコスト上昇に追いついていないことが挙げられる。シアトル地区は、サンノゼ、サンフランシスコ、ロサンゼルス、サンディエゴ地区に次ぎ、平均的な住宅を購入するのに必要な所得額において全米第 5 位となっている。[\(2/29 付シアトルタイムズ記事\)](#)

#### (6) ワシントン州のリンゴ輸出とインドとの貿易

昨年、インドが米国産リンゴへの関税を撤廃し、米国最大のリンゴ生産地であるワシントン州のリンゴ生産者にとっては朗報となった。ワシントン州では、トランプ政権による鉄鋼関税に対し、インドが米国に報復関税を課した 2019 年以前は、州内で生産されるリンゴの約 3 分の 1 を海外に輸出していたが、インドが導入した同関税により、リンゴの輸

出量は4分の1に減少した。インドは、関税撤廃に加え、昨年シアトル市に総領事館を開設し、両国間で新たな関係の発展を祝っている。[\(2/25付シアトルタイムズ記事\)](#)

#### その他、ジェットロビジネス短信記事より

2024年3月7日 [米カリフォルニア州公共事業委員会、自動運転のウェイモの営業拡大を認可](#)

2024年3月5日 [米CDC、新型コロナ感染のガイダンスをインフルエンザなど呼吸器系ウイルス感染と一体化](#)

2024年3月1日 [「始動 Next Innovator 2023」、デモデーを東京で開催](#)

2024年2月29日 [バイデン米大統領、懸念国への機微な個人データ大規模移転防止を指示する大統領令発出](#)

2024年2月28日 [米連邦取引委員会、スーパーマーケット大手クローガーの買収計画阻止へ](#)

2024年2月28日 [北米最大級の旅行博がニューヨークで開催、JNTOなど出展](#)

#### 総領事館からのお知らせ

##### (1) クワッド・フェローシップ (奨学金プログラム) 第二期募集

現在、2021年秋に立ち上がったクワッド・フェローシップ (奨学金プログラム) の第二期の募集が行われています。このプログラムは2024-2025年度に米国の大学院でSTEM分野を勉強する学生のために一時金として4万ドルの奨学金を支給するものです。詳細はクワッド・フェローシップウェブサイトをご覧ください。

【締切】4月1日 (月)

【申込】クワッド・フェローシップウェブサイト (<https://www.quadfellowship.org/>)

## (2) ワシントン州日米協会 SBEA 対面式個別相談ワークショップ

ワシントン州内の小規模企業・個人事業の経営者を対象とした日本語での支援プログラム SBEA による、対面式の個別相談ワークショップです。詳細は SBEA のウェブサイトをご覧ください。

【日時】 3月22日（金）午前10時～午後3時 及び 3月29日（金）午前10時～午後3時

【場所】 Nisei Veteran's Committee Memorial Hall

South King Street 1212, Seattle, WA 98144

【参加費】 無料

【登録】 [ワシントン州日米協会 SBEA ウェブサイト \(3/22 用\)](#)

[同 \(3/29 用\)](#)

## (3) SIJP 主催 新シリーズ<エンジニアのための面接戦略セミナー>

Seattle IT Japanese Professionals (SIJP) 主催の新シリーズ<エンジニアのための面接戦略セミナー>第一弾として、『インタビュー解説講座』が開催されます。SIJP メンバーの現役ソフトウェアエンジニアが、アメリカでの転職/就職を考えている方に向けて、こちらのイベントを準備しました。詳細は SIJP のウェブサイトをご覧ください。

【日時】 2024年3月25日（月）：午後7時～午後8時半

【開催方法】 オンライン（Zoom Meeting）

【参加費】 無料

【対象】 シアトルとイーストサイドの IT 業界でテック企業のソフトウェアエンジニア就職/転職を目指している方

【使用言語】 日本語

【登録】 [こちら](#)から

**編集後記：** The 96<sup>th</sup> annual Academy Awards will be held on Sunday with the recognition of another year of cinematic excellence. Yet, for all the Hollywood spectacle of star-studded, Japan and Washington State have a big presence at the Oscars this year. Several Japanese films are up for nomination, including for Godzilla Minus One under the Best Visual Effects category, Perfect Days under the Best International Feature Film category, and The Boy and the Heron under the Best Animated Feature Film category. In addition, Bellingham, Washington-native Lily Gladstone was nominated for Best Actress for her leading role in Killers of the Flower Moon. We wish all of these nominees well and hope to see even more on the Big Screen in the future from Japan and the Pacific Northwest.

\*\*\*\*\*

(注意点) 本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3か月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届出でメールアドレスをご登録いただいた方に対し

て、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。[https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr\\_ja/zairyu.html](https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html)

(Unsubscribe:配信停止)

当館が把握しているワシントン州日系企業に本ニュースレターをお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101